

共生・公正・創造



# ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合  
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号  
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290  
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

【東労組執行部の権力把握をめぐる内部確執問題の整理！ シリーズ2】

## 嶋田たちのホームページ 更新による反本部派の猛反撃

私たちの主張 <2005.11.16 006>

中央本部の心貧しき皆さん！ 異常性を「遺憾なく」発揮し、世の中からますます孤立していることを少しでも感覚しませんか？ 異常、非常識

<その1>

JR総連北陸地方協議会の第12回定期委員会で齊藤議長<前新潟地本委員長>、石田副議長が再選された(その場にはJR総連小田委員長、山下書記長も出席。拍手をして承認)。ところが、その後あるう事が中央本部は兩名の辞任を新潟地本に求めてきた。その理由が「組織混乱、組織指導の責任をとって地本役員に立候補しなかった」「単組の推薦がない」「本部は認めない」というものである。そもそも単組内の問題を産別に持ち込むことが、厳禁であることは労働運動の常識である。ましてやJR総連の地協役員を単組が推薦したことなど、只の一度もないことなのである。極めつけはJR総連北陸地方協議会の定期委員会で選出しているという事である。だから言いがかりにも等しい「理由」を取って付けたのは、「教祖様」からの逆鱗に触れたのであろう。何らの問題意識もなく、その人事を認めたJR総連三役の処分を行う茶番劇まで演出して、齊藤君、石田君の辞任を迫る様は、異常、非常識そのものである。齊藤君の責任に言及し、北陸地協役員の辞任を迫るのであれば、かの「東京問題」の責任をとって臨時の地方委員会まで開催し、東京地本委員長を辞任したイシカワ君がまずもって本部の委員長辞任をしてからだろう。その事に類被りしては、どうも迫力に欠けるといえるものですね。

<その2>

中央本部はこの8月に「小説労働組合」(谷川忍著)が組織破壊本と規定したそうだ。前代未聞である。その理由がなんとも苦しいのである。JR東日本ユニオンの今井委員長の挨拶を引っ張り出してきて、無理やりこじつけているのである。その今井某の挨拶とは「おそらく福原福太郎と思われる人物から小説労働組合が送られてきた。各支社長に千葉と横浜から不足分を集めて手紙を添えて送った。宗形氏に要点をまとめてもらい、民主化闘争情報などに掲載し東日本の民主化を進める」というものらしい。しかしこの挨拶からなぜ「JR東労組破壊を意図した連係プレー」とする訳の分からない結論が導き出され、組織破壊本にされるのであろうか？ 到底理解できない。つまりその「小説労働組合」の「何ページの、この記述が問題であり組織破壊だ」ということは一切言われてはいないのである。だとすると、どうやら内容は問題がないらしい。否、内容には触れられない何か、弱味でもあるのだろうか！？ それにしても「世界に冠たる」と自賛する組織が、仰々しく「小説」を「組織破壊本」と規定した本音が、異論を唱える組合員をその小説に関わったと、でっち上げて、制裁をするためだったとは、お粗末そのものである。

<その3>・・・

《国鉄改革の完成に向けて(宗形明著)162ページ~164ページより抜粋》